

環境都市常任委員会

(令和6年11月15日)

環境都市常任委員会

午前9時55分 開会

○大野祐司委員長 ただいまから、環境都市常任委員会を開会します。

本日の会議は、タブレット端末に掲載した日程により進めてまいります。

それでは、2、協議事項、(1)、人手不足の状況下における持続可能な地域経済の活性化についてを議題といたします。

過日13日に意見交換会を実施しましたが、これまで調査研究してきたことに加えて、新たな発見や気づきについて、分析と戦略に分けて、各委員より3分程度でそれぞれ御意見をお伺いしたいと思います。

まずは分析のほうからいきたいと思います。

伊藤委員。

○伊藤大輔委員 我々のできることにフォーカスしたほうがいいなと思いました。それが現場の声を聞いての新しい気づきです。やはり今回のテーマは、すごく大きいことに改めて気づかされたのと、やれることにしっかりフォーカスするってことを改めて気づかされました。

○大野祐司委員長 阿蘇委員。

○阿蘇佳一委員 まず、大野委員長を筆頭に、多くのメンバーに集まっていたいて、そこで意見交換することは、大切なことだったと感じました。その中で、やはりまちに魅力がないと人が集まらないということを改めて感じました。若者が働いた後の趣味の時間を含めて、こだわっているわけではないけれども、4駅周辺のまちづくりを徹底していかないと。私も東海大学との連携という話をさせていただいておりますけれど、秦野市で頑張っている企業にそもそも学生が振り向いてくれない。当たり前かもしれないけれども、大きな企業に入って、安定したいと学生は思っている。秦野の自然を生かしながらというけれど、現実にはなかなか難しい。やはり若者に魅力あるまちをどうやって作っていくのかということを、しっかりやっていかないといけないと感じました。

それから、人手不足というけれど、本当にそうなのかとも思っています。大企業は、スリム化をして、優秀な人材を集めて、スペシャリストの集まりを作りたい傾向があると感じる。多くの人を養いたいという視点が欠けているのではないかと。

建設現場の話でいきますと、職人がいない。現場で働く人がいないという深刻な状況があると思いました。総じて、大野委員長がまとめて、伊藤委員、田中委員が班長をやって、いい機会でしたし、スムーズにやっていただいて、御苦労様でした。

○大野祐司委員長 田中委員。

○田中めぐみ委員 皆さんの意見を聞いていて、まさに売り手市場なんだと感じました。例えば、紹介で入社してくれた人に奨励金が出るような制度を設けるほど、売り手市場

なんだと思いました。話を聞いている中で、現場の仕事は、高校を卒業した方がやっているケースが多いとのことだったのですが、人材の確保が非常に難しいと言われていました。高校を卒業した方が集まらないことによって、遠方にそういう人材を求めて募集をかけているという状態があるってことを聞いたので、もう少し市内の高等学校との連携というところも、もう1回見直して取り組んでみてもいいんじゃないかっていうことを感じました。

それから、話題になっている103万円の壁の話が出なかったのは意外だと思いました。非正規で働いている人の中には、子育て支援によって、本当はもっと正規雇用とかで働きたい人もいると思うので、支援とかをしっかりとしないと、人材の確保は難しいんじゃないかっていうのを感じました。

○大野祐司委員長 ありがとうございます。分析と戦略に分けてとお願いしましたが、大分戦略も出ているように感じますが、今度は分析に軸を置いた中での戦略についてお願いします。先ほどとは、逆の順番で。

田中委員。

○田中めぐみ委員 市内の高校にもっと市内企業のことを知ってもらう機会を、市から仕掛けてもいいのかなと思いました。それと、農業のところで、レクリエーションを企画したい人と、参加したい人のマッチングを市が間に入って行ってもいいのかなと思いました。そのことによって、忙しい時期などの、时期的な人材を確保できるかもしれないと戦略部分で感じました。

以上です。

○大野祐司委員長 阿蘇委員。

○阿蘇佳一委員 先ほど少し触れましたけれども、大きな企業、そして労働組合がしっかりしている、安定しているところはいいんだろうけれども、そこに入れない若者はなかなか働く場がない。そういう中で、ハローワークがあるのかもしれないけど、市としてもフォローする。それと、元気な高齢者の働く場の提供についても、市でフォローする必要があるのかなと思います。働く場を提供するような。

○大野祐司委員長 伊藤委員。

○伊藤大輔委員 私は、やっぱり大きなテーマなので、もっと自分たちができること、効果的な範囲に戦略は絞るべきだと思っていて。視察で行った市でも、先進的な取組として、企業とのマッチングをやっているけど、効果は数人で、僅かしかなくて、本市でもマッチングを既にやっている話も聞いているので、地域の担い手とか、そういう提言をしたほうがいいと思っていて。私がずっと言っている、電子地域通貨を活用した電子地域ポイントを使って、例えば、地域の見守りだとか、技術系の職員も減ってきている話もありますので、マンホールの交換や、道路の穴を写真で送ってもらうだとか、地域の担い手に付与して行って、身近な部分を提言したほうがいいと思っています。

○大野祐司委員長 ありがとうございます。本日欠席の方や皆様の御意見を踏まえて、正・副委員長で整理して、御提示したいと思います。また、まだまだ言い足りない部分があるかと思うので、今月中に議会局に追加がありましたら、御提出いただきたいと思います。そのような形でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○大野祐司委員長 田中委員。

○田中めぐみ委員 テーブルが2つに分かれていたので、参加していなかったほうの班の意見にはどういったものがあつたのか知りたいと思います。

○大野祐司委員長 それでは、各班長に私たちのテーブルではこういった意見があつたということをまとめて、議会局に出していただきたいと思います。

暫時休憩します。

午前10時08分 休憩

午前10時11分 再開

○大野祐司委員長 再開します。

それでは、各班の班長にお願いしたいと思います。

次に、その他ですが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

伊藤委員。

○伊藤大輔委員 これまで皆さんで取り組んできたテーマについて、ここで電子地域通貨が始まりますので、このテーマに触れながら一般質問したいと思っているのですが、どうですか。

○大野祐司委員長 暫時休憩します。

午前10時13分 休憩

午前10時15分 再開

○大野祐司委員長 再開します。

ただいまの伊藤委員のお尋ねに対しては、一定の御配慮をお願いするところでございます。

以上で、環境都市常任委員会を閉会いたします。

午前10時15分 閉会

環境都市常任委員会委員長